

新型コロナ、卒業学年のみ卒業式、3/3~3/15 臨時休校…何があるかわからない。でも、何があろうとやらねばならないこともある…



2月、コロナ感染が全国で拡大する中、いくつかの大学が卒業式・入学式の実施を見送り、多くのイベントが自粛となり、明石市内でも在校生の卒業式・予行の参加を見送る学校もあり、さらに首相自らの「春休みまでの小中高校の休校」要請ありと、人が集まるイベント自体が自粛されるようなムードの中、第72回卒業証書授与式が挙行されました。本校については、予行は在校生も参加しましたが、卒業式は卒業生とその保護者だけの参加となりました。卒業生答辞の中に「卒業式ができなくなった高校もある中、挙行していただきうれしい」という言葉がまさに卒業生の思いがこもっているように思います。その中で、放送部は運営にかかわっていきました。機材の設営から、入場曲・退場曲、卒業生呼名のBGMなど裏方として取り組みました。基本的には、例年の動きですが、卒業式後に実施している送別会が実施できなかったことは生徒にとっても残念だったことと思います。が、この状況の中で、とにかく卒業式に関わり、72回生の前途を祝福できたこと、放送だからこそできたことだと思います。卒業学年の先生方からは「よくやってくれた」との言葉もいただきました。

ここしばらくは、この思わぬ時間をいかに過ごすか、これが今後を左右することになるかもしれません。“どうなるのか”という不安はありますが、振り回されることなく、各々の立場で“すべきことをする”よう心がけてゆこうと思います。

放送部からも4名がそれぞれの進路へ向けて卒業して行きました。



受験生の皆さんへ

入試前の突然の休校、大変なことと思います。まさに何があるのかわからない状況です。でも、決して諦めてはいけません。“しんどいこと”があれば“楽しいこと”もあります。様々なことがあるのが人生です。“しんどいこと”の次の“楽しいこと”は2倍の喜びになります。

“今”に全力で取り組みましょう！！納得できる入試にしましょう。

応援しています。頑張りましょう！！